

四街道市青少年育成センターだより

一期一会

令和4年7月11日 第263号
四街道市青少年育成センター発行
四街道市鹿渡2001-11
電話 043-421-7867
FAX 043-421-7871
E-mail yseishonen@city.yotsukaido.chiba.jp

日常の風景から見えるもの

四街道市青少年育成センター
青少年育成指導教員 勝又 美代志

四街道市青少年育成センター広報誌「一期一会」を日頃よりご愛読いただき、深く感謝申し上げます。私は、この小誌の編集に携わって6年以上になります。市内の不審者情報や補導委員の活動、青少年の健全育成に関わるニュースなどを具体的に皆様に届けるよう努力しています。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

さて、以前この欄に「子育てと守破離」の題で投稿して10年ほどになりますが、今回は日々の生活の中で見かける風景の中から「子育て」について考えてみたいと思います。

【駅のプラットフォームでの風景】

ある日の退勤の時です。電車を待っていると隣に3、4才の娘さんとママが同じく電車を待っていました。娘さんは保育園の帰りか、ママにまわりつきながら楽しそうに話しかけていました。おそらく園での事や友達の事を話しかけていたのだと思います。ところが、ママはと見るとスマホの操作に夢中で、娘さんの話には上の空のようでした。

娘さんにとっては、一日が終わり、ママを独り占めできる一番楽しい時間かもしれません。ママにとっても、スキンシップや会話を通して娘さんとの関係を深める大切な時間になるはずでした。しかし、その時間をスマホが取り上げてしまいました。「三つ子の魂百まで」と言います。コミュニケーション作りが苦手な青少年が多い時代に、幼児期に親がしっかり子どもと向き合って過ごす時間は大切にしたいものです。

【節目のお祝い】

ある地方の離島を旅行した時の風景です。夜、食事をしようと繁華街に出かけましたが、平日なのに満員の店が多く、困ってしまいました。運良く食事はとることはできましたが、帰りのタクシーで運転手に聞いたその理由にびっくりしました。その日は3月の中頃だったと思います。ちょうどその日が高校入試の合格発表日で、家族全員でお祝いの席を設けている家庭が多くそれが満員の原因だったからです。

この地方では、子どもの「節目」つまり入学式や卒業式、誕生日などに家族だけでなく、親戚が集まってお祝いをする習慣があるとの事でした。これは、子どもの成長に大勢の人が関わっている証です。昔の家族は、親子2代、3代が同居で一人の子育てに多くの大人が関わっていましたが、現在は両親だけで子育てしている家庭が大部分だと思ひます。家事などで人出が足りないときは、スマホのユーチューブが親代わりなんて話も耳にします。親が子育ての壁にぶつかったときに、いろいろな立場や考え方の人が身近にいて関わってくれることは、大変重要だと思ひます。児童虐待などの悲惨なニュースを聞くたびに、周囲の人が手を差し出したり、一声をかけたりできなかったのかと残念な気持ちになりますが、この離島のような人間関係ならそれも少しは防げるだろうと思ひます。

日常の風景から子育てを考えてみました。子育てに王道はありません。だからこそ、どの家庭でも悩んだり衝突したりします。しかし「こどもとしっかり向き合いコミュニケーションをとること」「子育てを通じて大勢の人に関わってもらうこと」は、王道に近いかも知れません。

当センターでは子どもと保護者の悩み相談を受け付けています

四街道市青少年育成センター (月)～(金) 9:00～17:00

相談専用電話 043-423-0066 いじめ相談フリーダイヤル 0120-423-006

青少年育成センターへは市役所第二庁舎からも裏側通用口を利用して入ることもできます

◎ 「一期一会」は、市ホームページにも掲載してあります。青少年育成センターのページからご覧ください。

ご存じですか？「こども110番の家」

「こども110番の家」の目的は？

防犯上の視点から、市内に在住する児童生徒の安全を確保するために地域住民の協力を得て、主に身柄の保護と警察への通報を目的として行っている活動です。

「こども110番の家」の経緯と活動主体

四街道市では、平成9年に校長会の要請を受け、四街道市PTA連絡協議会が「こども110番の家」設置に向けて動き出したことから始まりました。3年間の準備期間を経て、平成12年にこども110番運営協議会が発足し、「こども110番の家」の活動がスタートしました。

市内の「こども110番の家」の設置状況

令和4年3月31日現在で、2,935戸の家庭や事業所等（以下、協力家庭等という）の協力をいただいています。今後も協力家庭の拡大のため、広報紙や市政だよりへ掲載したり、各学校で協力依頼の文書を配布したりしていきます。

「こども110番の家」の具体的な役割

- ・プレートを掲げることによる地域での犯罪抑止効果を推進します。
- ・不審者や変質者が出没した時、子どもが逃げ込める一時避難所的な役割をします。
- ・速やかに、110番通報、119番通報を支援します。
- ・被害を受けた、あるいは受けそうになった子どもの家庭や学校・消防署（救急車の要請）との連絡を支援します。



「こども110番の家」への登録方法は？

- ・保護者・地域住民の方は、市内小学校PTA等の担当者へ、地域の事業所の方は、市内中学校PTAの担当者へ申し込みます。

(四街道市ホームページより)

「こども110番の家」は、地域住民の皆様方が、子どもたちを様々な犯罪から守る活動です。ご協力をいただける方は、各地区の小学校、中学校へご連絡ください。

○6月の相談活動（68件）

電話	28	来所	33	訪問	7
----	----	----	----	----	---

○6月の不審者情報

6月の不審者情報はありませんでした。

○8月の街頭補導予定（14回）

2日(火)B	3日(水)E	4日(木)F	8日(月)C	9日(火)E	12日(金)D	17日(水)D
19日(金)E	22日(月)D	24日(水)E	25日(木)B	26日(金)F	30日(火)C	

A 7:30-8:30 B 10:00-11:00 C 14:30 - 15:30 D 16:30-17:30 E 17:30-18:30 F 18:30-19:30